

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	元気があふれる健やかなまち（保健・医療）
施策の柱	健康づくり

●目指す姿

●市民一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、運動、栄養、休養のバランスの取れた生活習慣を身につけ、主体的・積極的に健康づくりに取り組むことで、健康寿命の延伸が図られています。

●家庭・地域・学校等において、食を通じた心身の健康と豊かな人間性を育む取り組みが行われています。

●こころの健康に対する正しい知識を身につけ、市民それぞれが、自分にあったストレス解消法を身につけています。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）日頃から、健康維持のために何かに取り組んでいる市民の割合	60.5%	-	62.4%				UP	健康管理課
（客）人口10万人当たりの三大生活習慣病（がん、心疾患、脳血管疾患）による死亡率（年間）	52.7%	50.9%	55.4%				50.0%以下	健康管理課
（客）各種健康講座の参加者数（年間）	5,033人	5,791人	6,265人				5,500人	健康管理課

●施策の方向性①健康寿命の延伸に関する啓発

事業番号	41101	事業名	健康づくり啓発事業	担当課	健康管理課
事業概要	健康のつどい等を通じて、「自分の健康は自分で守り、つくる」ための望ましい生活習慣の情報提供や実践方法などの普及啓発に努め、健康寿命の延伸を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 「元気があふれる健やかなまち～よい睡眠でからだもこころも健康に～」をテーマに「各務原市健康のつどい」を開催し、健康講話や健康相談、検査コーナーなどの参加を通し、自分の健康は自分で守る事や、つくる意識をもっていただく機会を提供している。 【課題】 高齢者と比べ、若年層の参加が少ない。 【対策】 新規参加者及び若年層への参加を呼び掛けるため、ウェブサイトなどによる周知に力を入れるなど、ターゲットを絞った情報発信を拡大する。				

●施策の方向性②健康づくり活動への支援

事業番号	41201	事業名	健康づくり活動支援事業	担当課	健康管理課
事業概要	健康に関わるボランティア団体や保健・福祉・医療関係の団体等と連携し、健康講座、健康づくり教室の拡充を図る。 栄養教室や健康講座を通じて、健康づくりに対するきっかけを提供するとともに、健康増進の取り組みに対する正しい知識の普及啓発を行なう。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 妊婦を対象にマタニティスクール、ハッピー子育て講座や、2歳児歯科教室での歯科保健教室、中学生を対象とした喫煙予防教室を行っている。また、ボランティア団体や保健・福祉・医療関係の団体等と連携した栄養教室、生活習慣予防教室、健康福祉講座などを行っている。 【課題】 健康に対する情報は、比較的容易に得やすいが、正しい知識で自分にあった方法で健康づくりを実施していくことが必要である。参加者は増加傾向にあるが、生活習慣病が増加する40～65歳の参加者が少ない傾向にある。 【対策】 勤労者が参加しやすい土日開催を実施し、広報、ウェブサイト、自治会回覧などで周知し、若いころから自分の健康に関心を持ち、自分にあった方法で健康づくりを実践できるよう、健康づくりの取り組みに対する正しい知識の普及啓発を行う。				

●施策の方向性③食を通じた健康づくりの推進

事業番号	41301	事業名	食の健康推進事業	担当課	健康管理課
事業概要	食生活改善協議会等と連携し、食生活に対する正しい理解と望ましい習慣が身につけられるよう、食の重要性に関する意識啓発を地域で推進する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 各種事業や健診等で、健康や食生活について望ましい知識や習慣が身につくよう普及啓発をしている。 食生活改善推進協議会においては、一般市民に対しての栄養改善をめざして広く活動している。 【課題】 事業や教室等に関心の持てない方への対応。 【対策】 広報紙やホームページ、栄養教室や特定保健指導など様々な機会を活用し自身の健康について関心を持っていただくよう啓発を行う。				

●施策の方向性④こころの健康の保持・増進

事業番号	41401	事業名	こころの健康推進事業	担当課	社会福祉課
事業概要	誰もが安心して生きられる温かい社会づくりを目指して、悩みや心配をひとりで抱えこまないよう、こころの健康づくりに関する相談に応じるメンタル相談事業を実施し、また、気軽にいつでも、どこでも、ストレスや落ち込み度をチェックできるシステムを導入する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 メンタルヘルスチェック「こころの体温計」の市ウェブサイトでの開設、精神科医によるメンタルヘルス相談実施など、悩みや心配をひとりで抱えこまず、気軽にいつでも、どこでも、ストレスや落ち込み度をチェックできる環境整備ができています。 【課題】 本人はもちろん、地域、家族や職場などで、自殺サインに対する気づきや適切な対処方法、自殺問題に対する正しい理解や啓発が必要である。 【対策】 精神科医や保健所と連携し、悩みを抱えた人や家族等周囲の方へ健康相談(こころの健康相談)を勧めるなど、状況に応じた対策を引き続き行っていく。				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	元気があふれる健やかなまち（保健・医療）
施策の柱	保健・予防

●目指す姿

- すべての市民が、各年代の特徴を活かした保健予防活動を行い、効果的な健康増進が図られています。
- 歯と口腔の健康について正しい知識を持ち、生涯にわたって歯を健康に保つための活動に取り組んでいます。
- 安心して妊娠・出産できる環境が整っていると同時に、子どもが健やかに育つ環境が整備されています。
- 新たな感染症に対する適切な予防対策がとられており、不安なく生活することができます。
- 身近なところでいつでも健康相談ができます。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）定期的に健康診査を受けている人の割合	71.4%	－	69.1%				UP	健康管理課
（客）特定保健指導実施率（年間）	15.6% (H25)	16.6% (H26)	15.0% (H27)				35.0%	健康管理課
（客）40歳代及び50歳代の歯周疾患検診の受診率（年間）	6.0%	4.1%	2.8%				9.0%	健康管理課

●施策の方向性①生活習慣病等予防の推進

事業番号	42101	事業名	生活習慣病予防事業	担当課	健康管理課
事業概要	健康診査やがん検診等について、誰もが受けやすい健診となるよう実施方法、期間などの工夫を図り、疾病の早期発見・早期治療に努める。			担当課 評価	事業の達成指標に対してあまり順調に進んでいない
現状分析・課題・対策	【現状】 各種健診やがん検診の受診率向上のため、がん検診無料クーポン券の送付や個別勧奨通知、協会けんぽや生命保険会社との協定による各種がん検診のチラシの配布等周知啓発を図った。また、健診後、保健指導が必要な方に対して、生活習慣病予防教室の実施や家庭訪問での個別指導を行い、疾病の早期発見・治療や健康づくりに努めた。 【課題】 達成指標について目標値との差が大きい。受診率の向上に向け検診体制をさらに整備する必要がある。 【対策】 がん検診無料クーポン券の送付や個別勧奨通知、協会けんぽや生命保険会社との協定による各種がん検診のチラシの配布等周知啓発を図る。特に肺がん・結核検診の受診数が少ないことから、市内指定医療機関で受診できるよう検診体制の整備を図る。 また、特定保健指導が必要な方の利用率が低いため、H28年度に策定した「データヘルス計画」において特定保健指導利用率の向上を目標に掲げ、特定健診等のデータを活用して疾病リスクの高い方に対する医療機関への受診勧奨などを実施する。				

●施策の方向性②歯の健康の保持・増進

事業番号	42201	事業名	歯科保健事業	担当課	健康管理課
事業概要	生涯を通じて、健康な口腔を維持できるよう、各年齢層に応じた歯科検診・歯科健康教育・歯科相談を実施し、歯科(口腔)保健サービスの推進を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対してあまり順調に進んでいない
現状分析・課題・対策	【現状】 各保健事業等の機会を通して、乳幼児期の成長発達に伴う口腔機能の育成支援及び歯と口腔の健康と全身の健康の関連性の啓発を行うとともに、定期的な歯科検診受診による歯と口腔の健康管理の啓発や在宅医療ガイドブック等の活用を周知している。 【課題】 各歯科保健事業を通して、幼児期から家族揃って「かかりつけ歯科医」を持つことを啓発しているが、成人期以降、定期歯科検診の継続的な受診に繋がる健康教育を効果的に実施することが課題である。 40～50歳代の受診率低下要因のひとつとして、過去の検診受診による疾患発見の後、日ごろから歯科医療を受け口腔保健に努めており、医療的管理が充実した結果として検診を受診をしていない市民が一定数存在することも考えられる。 【対策】 定期的な歯科検診の受診について、「かかりつけ歯科医」の機能を十分にPRしながら啓発を推進する。【各保健事業での個別通知の充実。乳幼児期…母子保健手帳及び歯の健康手帳の活用、成人期以降…健康手帳の活用を推進】 また、40～50歳代市民に対しては、今後の受診率の推移を注視するとともに、健診受診あるいは歯科医療受診による口腔保健の向上に向け、引き続き、歯と口腔の健康と全身の健康の関連性の啓発に努める。				

●施策の方向性③母子保健の充実

事業番号	42301	事業名	母子保健推進事業	担当課	健康管理課
事業概要	誰もが安心して出産・育児が行なえるよう妊娠期から子育て期の健康診査や健康相談等の充実を図り、子育てに関する正しい知識・情報を提供し、家族が協力しあって子育てをすることの楽しさ・重要性を啓発する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 マタニティー広場等講座の受講者は増加している。新生児第1子及びハイリスク者全戸訪問についてもほぼ達成できている。また、産後1か月健診や母乳育児相談の助成についても認知されつつある。 乳幼児健診は高い受診率を維持している。 【課題】 誰もが安心して出産・育児が行えるよう妊娠期から子育て期の健康診査や健康相談等の充実を図り、子育てに関する正しい知識・情報を提供し、家族が協力しあって子育てをすることの楽しさ・重要性の普及を図っていく必要がある。 【対策】 妊娠期から子育て期について講座や健診、相談等の充実を図り、積極的に事業に参加していただくよう周知していく。				

事業番号	42302	事業名	不妊治療費助成事業	担当課	健康管理課
事業概要	晩婚化により不妊治療を行なう夫婦が増加傾向にある。子どもを産み育てたい夫婦の経済的、精神的負担の軽減を図るとともに、妊娠・出産することで、少子化対策に努める。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 保健適用外の不妊治療に対し、その費用の一部を助成している。平成28年度から一般不妊治療費助成に加え特定不妊治療費助成を開始した。 晩婚化等により、不妊治療を行う夫婦が増加しており、制度利用者は増加傾向である。 【課題】 子どもを産み育てたい夫婦の経済的、精神的負担の軽減を図るとともに、妊娠・出産を促進する必要がある。また、周知がまだまだ行き届いていないため、今後も助成事業の周知を継続的に図る必要がある。 【対策】 助成事業に年齢制限が設けられているため、健康相談等で不妊治療の知識の普及に努めていく。 広報紙などで助成事業の周知を図る。				

●施策の方向性④感染症予防対策の推進

事業番号	42401	事業名	感染症予防対策事業	担当課	健康管理課
事業概要	感染症の予防に関する正しい知識の普及を図るとともに、幼児及び成人の感染症の発生・まん延を防ぐ予防接種を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 感染症の予防に関する正しい知識の普及を図るとともに、幼児及び成人の感染症発生・まん延防止のための予防接種を行っている。また、乳幼児健診などで、接種の確認・勧奨を行っている。 【課題】 厚生労働省が行う予防接種実施要領の変更に適正に対応するとともに、市民に対し、最新情報の確実な周知が必要である。 【対策】 個別通知などを行い、きめ細かい周知を行っていく。				

●施策の方向性⑤健康づくりを支援する環境の整備

事業番号	42501	事業名	保健相談センター運営事業	担当課	健康管理課
事業概要	市民が身近な場所で健康相談や健康に関する情報を知ることができるように、相談拠点の整備、機能強化を図る。 ※平成29年3月 東保健相談センター完成			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 市民の健康づくりを支援する東部地区の拠点である東保健相談センター開設に伴う2拠点体制の保健事業実施に備えた調整を行った。 東保健相談センターでは、「乳幼児健診」や「健康教室」など各保健事業を展開し、サービスの拡充を行う。 【課題】 利用しやすい健康づくりの拠点施設としての周知が行き届いていない。 【対策】 広報やウェブなどを利用し、東保健相談センターで開催される健診や相談などの周知を継続的に行っていく。また、施設利用者や健診などの受診者を対象としたアンケート調査の実施によりニーズを把握していく。				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	元気があふれる健やかなまち（保健・医療）
施策の柱	地域医療

●目指す姿

●必要な時に、必要な医療を受けることができる環境が整っており、安心して生活を送ることができます。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）かかりつけ医がいる市民の割合	57.5%	－	55.6%				UP	健康管理課
（客）市内医療機関で訪問診療を実施している医療機関の割合	71.3%	71.3%	75.3%				75.0%	健康管理課

●施策の方向性①かかりつけ医制度の推進

事業番号	43101	事業名	かかりつけ医普及・啓発事業	担当課	健康管理課
事業概要	日常的な健康管理や疾病予防、健康に対する相談ができる身近な医師である「かかりつけ医、かかりつけ歯科医」の普及・定着を図る。			担当課評価	事業の達成指標に対してあまり順調に進んでいない
現状分析・課題・対策	【現状】 市が実施する健康診査、各種検診等の受診の機会を通じて、市民へかかりつけ医制度を啓発した。 【課題】 疾病の早期発見や重症化予防当に対する「かかりつけ医」の有用性が十分に浸透していない。 【対策】 医療機関や関係部署と連携し、市が実施する健康診査、各種健診等の受診の機会を通じて、市民へ「かかりつけ医」制度を啓発する。				

●施策の方向性②救急医療体制の充実

事業番号	43201	事業名	休日急病診療体制充実事業	担当課	健康管理課
事業概要	休日でも安心して医療を受けられるように、休日急病診療所及び休日在宅歯科診療当番制の運営を行うとともに、県や近隣自治体と連携し、救急時の医療体制確保に努める。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 市医師会・薬剤師会の協力により休日急病診療所を開設、歯科医師会の協力により在宅当番医制で歯科診療所を開設し、休日等における救急医療体制の確保を行っている。 【課題】 安定した休日診療体制は公益性及び必要性が高いため、継続した運営が必要である。 【対策】 三師会との連携強化を図りながら、運営を継続する。				

事業番号	43202	事業名	東海中央病院改築助成事業	担当課	健康管理課
事業概要	市民病院的役割として、また二次病院として高度な医療が提供できる東海中央病院の活用が促進されるよう、地域医療環境の整備を促進する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 公的病院としての性質を担う東海中央病院が平成22年度に実施した施設・設備改築事業に対し、協定書を締結し支援している。 【課題】 地域における市民の医療に対する不安解消や、良質な医療を提供するための地域医療体制を維持していく必要がある。 【対策】 協定書で定めている期間まで、東海中央病院への支援を継続する。				

●施策の方向性③地域医療体制の整備

事業番号	43302	事業名	各務原市准看護学校支援事業	担当課	健康管理課
事業概要	市内医療機関の看護師体制の充実を図るため、准看護師の育成を目指す各務原市医師会准看護学校の運営を支援する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 看護師の育成を支援し、地域医療の充実に貢献するため、各務原市医師会准看護学校の運営に対する支援を行っている。 【課題】 地域医療の充実に図るため、市内医療機関において従事する卒業生を増やしていく必要がある。 【対策】 准看護学校に対し、市内就職率向上につながる指導について要望を実施していく。				